

障害福祉関係ニュース

(障害福祉制度・施策関連情報)

2021(令和3)年度
6号(通算394号)
(令和3年9月30日発行)

本ニュースは、全社協 高年・障害福祉部に
事務局をおく、セルフ協・身障協・厚生協・
全救協・障連協の協議員・役員・構成団体、
ならびに都道府県・指定都市社協に電子メー
ルにてお送りしてまいります。

[発行] 全国社会福祉協議会 高年・障害福祉
部
〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2
新霞が関ビル内
TEL:03-3581-6502 FAX:03-3581-2428
E-MAIL: z-shogai@shakyo.or.jp

◆◆◆ 今号の掲載内容 ◆◆◆

- I. 障害福祉制度・施策関連情報
 - 1. 【厚労省】障害福祉サービスの感染防止対策の継続支援について 1
 - 2. 【厚労省】社会保障審議会 障害者部会(第117、118回)が開催される 2
 - 3. 【厚労省】第56、57回障害者政策委員会が開催される 2
- II. その他の関連情報
 - 1. 【全社協】「令和3年度 福祉ビジョン 21世紀セミナー ウィズコロナ時代の社会福祉～連携・協働の場の創造に向けて～」を開催 4
 - 2. 【保健福祉広報協会】「国際福祉機器展 H.C.R. 2021」入場事前登録を開始 5
 - 3. 【厚労省】共生社会フォーラム～共生社会等に関する基本理念等普及啓発事業～を開催 6
 - 4. 【厚労省】世界メンタルヘルスデーイベントの実施について 7
 - 5. 【キリン福祉財団】令和4年度「キリン・福祉のちから開拓事業」、「キリン・地域のちから応援事業」の助成事業を募集 8

I. 障害福祉制度・施策関連情報

1. 【厚労省】障害福祉サービスの感染防止対策の継続支援について

厚生労働省は9月28日に事務連絡「感染防止対策の継続支援」を发出し、9月末までとされている「新型コロナウイルス感染症への対応に係る特例的な評価(かかり増し経費が必要となること等を踏まえた障害福祉サービス等報酬への0.1%の上乗せ)」を終了し、10月以降は補助金によりかかり増し経費を直接支援する方針を示しました。

経費の対象期間は令和3年10月1日から12月31日までとし、申請手続きはできる限り簡素化を図るよう検討するとしています。障害福祉サービス別等に設定される補助上限や対象

経費等の詳細についても、追って示される予定です。また、各サービス事業所等においては、感染防止対策の継続に係る領収書を保存しておくよう求めています。

なお、本件については、全国社会福祉協議会 社会福祉施設協議会連絡会（施設協連絡会）が9月22日に「長期化するコロナ禍において国民生活を守り抜くための緊急要望」を田村厚生労働大臣、西村内閣府特命担当大臣、衛藤社会福祉推進議員連盟会長に提出していました。

通知の詳細につきましては、下記セルフ協ホームページに掲載しておりますので、ご確認ください。

【セルフ協 HP】 https://www.selp.or.jp/general/activity/disaster_support/1/151

2. 【厚生省】社会保障審議会 障害者部会（第117、118回）が開催される

社会保障審議会 障害者部会（部会長：菊池 馨実 早稲田大学法学学術院教授）は、9月6日に第117回、9月16日に第118回部会を開催しました。

第117回部会では「障害福祉サービス等の質の確保・向上等」、「制度の持続可能性の確保等」について、第118回部会では「障害者の就労支援」と「精神障害者に対する支援」について、それぞれ論点が提示され、協議が行われました。

今後10月～11月にかけて引き続き個別論点についての議論が行われ、11月～12月を目途に報告書のとりまとめがなされる予定です。

当日の資料等につきましては、下記厚生労働省ホームページをご確認ください。

【厚生労働省HP】 https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-hosho_126730.html

3. 【厚生省】第56、57回障害者政策委員会が開催される

内閣府は、9月13日に第56回、9月27日に第57回障害者政策委員会（委員長：石川 准 静岡県立大学教授）を開催しました。

第56回では、障害者差別解消法の基本方針の改定に向けてヒアリング項目が示され、各設問について19の関係団体からのヒアリングが行われました。（ヒアリング参加団体、示されたヒアリング項目は下記をご確認ください。）

第57回では、第56回に引き続き10の関係団体からヒアリングが行われるとともに、障害者基本計画（第4次）の令和2年度実施状況について、文部科学省、厚生労働省、国土交通省から報告が行われました。また、厚生労働省からは、「障害保健福祉分野における新型コロナウイルス感染症への対応」について報告がありました。

当日の資料等につきましては、下記内閣府ホームページをご確認ください。

【内閣府 HP】 https://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/seisaku_iinkai/index.html

ヒアリング参加団体一覧

○9月13日（第56回障害者政策委員会）

- ・特定非営利活動法人 筋痛性脳脊髄炎の会
- ・全国「精神病」者集団
- ・一般社団法人 全国肢体不自由児者父母の会連合会
- ・社会福祉法人 全国重症心身障害児（者）を守る会

- ・公益社団法人 全国脊髄損傷者連合会
- ・一般社団法人 全国手をつなぐ育成会連合会
- ・特定非営利活動法人 DPI 日本会議
- ・日本弱視者ネットワーク
- ・社会福祉法人 日本身体障害者団体連合会
- ・公益社団法人 日本てんかん協会
- ・特定非営利活動法人 全国言友会連絡協議会
- ・一般社団法人 全国心臓病の子どもを守る会
- ・公益社団法人 全国精神保健福祉会連合会
- ・特定非営利活動法人 難病のこども支援全国ネットワーク
- ・特定非営利活動法人 日本高次脳機能障害友の会
- ・特定非営利活動法人 日本失語症協議会
- ・一般社団法人 日本自閉症協会
- ・公益財団法人 日本ダウン症協会
- ・一般社団法人 日本難病・疾病団体協議会

○9月27日(第57回障害者政策委員会)

- ・一般社団法人 日本ALS協会
- ・一般社団法人 日本筋ジストロフィー協会
- ・ピープルファーストジャパン
- ・社会福祉法人 全国盲ろう者協会
- ・一般社団法人 全日本難聴者・中途失聴者団体連合会
- ・一般財団法人 全日本ろうあ連盟
- ・DPI女性障害者ネットワーク
- ・社会福祉法人 日本視覚障害者団体連合
- ・日本障害フォーラム(JDF)
- ・一般社団法人 日本発達障害ネットワーク

基本方針改正に関するヒアリング項目

1. 行政機関等及び事業者が講ずべき障害を理由とする差別を解消するための措置に関する共通的な事項について

(1) 不当な差別的取扱いについて

- 「不当な差別的取扱いの基本的な考え方」や「正当な理由の判断の視点」について、現行の基本方針に追記すべき点や現行の基本方針の記載から変更すべき点等がありますか。
また、そのように考える根拠となるような事例(実際の現場で対応に苦慮している事例等)はありますか。

(2) 合理的配慮の提供について

- ①「合理的配慮」及び「過重な負担」の基本的な考え方について、現行の基本方針に追記すべき点や、現行の基本方針の記載から変更すべき点等がありますか。
また、そのように考える根拠となるような事例(実際の現場で対応に苦慮している事例等)はありますか。
- ②合理的配慮の提供に当たって障害者と事業者又は行政機関等との双方の建設的対話を行うために、どのようなことが必要であると考えますか。

また、そのように考える根拠となるような事例(建設的対話がうまくいった/いかなかった事例)はありますか。

2. 国及び地方公共団体による障害を理由とする差別を解消するための支援措置の実施に関する基本的な事項について

- (1) 障害を理由とする差別に関する相談体制について、どのような課題があり、どのような対応が必要と考えますか。
- (2) 障害を理由とする差別に関する啓発活動、障害者差別解消支援地域協議会、事例の収集・共有について、どのような課題があり、どのような対応が必要と考えますか。

3. その他

○その他基本方針の改定に当たり検討すべき点などがあればお聞かせください。

(以上)

II. その他の関連情報

1. 【全社協】「令和3年度 福祉ビジョン 21世紀セミナー ウィズコロナ時代の社会福祉～連携・協働の場の創造に向けて～」を開催

全国社会福祉協議会(全社協)では、標記セミナーを11月1日より動画配信により開催いたします。

新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るうようになってから1年半以上が経過しています。コロナ禍のなか、生活に困窮する人びとが増え、社会的つながりや参加の機会が減少するなど新たな地域生活課題が表出しており、こうした課題の解決に向け、福祉関係者への期待は高まっています。

本セミナーでは2020年2月に策定した「全社協 福祉ビジョン 2020」の具体化に向けた各施設種別協議会の行動方針策定の実践を報告するとともに、ウィズコロナ時代における、これからの社会福祉のあり方、福祉関係者に求められる取り組みについて考察することを目的としています。

詳細につきましては、下記概要をご確認ください。

令和3年度 福祉ビジョン 21世紀セミナー

(1) 配信期間

令和3年11月1日(月)～11月30日(火)

(2) 内容

<実践報告・総括講義> 『全社協 福祉ビジョン 2020』とこれからの社会保障

実践報告：全国社会就労センター協議会 副会長 松村 浩 氏

全国乳児福祉協議会 副会長 横川 哲 氏

全国社会福祉法人経営者協議会 副会長 谷村 誠 氏

総括講義：慶應義塾大学経済学部 教授 駒村 康平 氏

<講演1>

「コロナ禍における女性への影響—コロナ下の雇用・女性支援プロジェクトチームを通して—」
東京大学 副学長 白波瀬 佐和子 氏

<講演2>

「ウィズコロナ時代の地域福祉実践」
日本福祉大学 教授 原田 正樹 氏

(3) 参加対象

- ① 社会福祉法人・社会福祉施設等の役員・幹部職員
- ② 都道府県・指定都市・市区町村社会福祉協議会役員・幹部職員
- ③ 社会福祉関係団体、民生委員・児童委員、学識経験者
- ④ 都道府県・指定都市・市区町村行政幹部職員

(4) 参加費

10,000 円 (1 名につき)

(5) 申込締切

令和3年10月15日(金)

(6) 申込方法

下記参加お申込み専用サイトをご参照ください。

<https://www.mwt-mice.com/events/fukushi211101/login>

【お問い合わせ先】

全国社会福祉協議会 政策企画部 (担当: 内田、中隈)

TEL:03-3581-7889 FAX:03-3580-5721 E-mail:z-seisaku@shakyo.or.jp

2. 【保健福祉広報協会】「国際福祉機器展 H. C. R. 2021」入場事前登録を開始

全国社会福祉協議会と一般社団法人 保健福祉広報協会は、「国際福祉機器展 H. C. R. 2021」について、青海展示棟を会場とする「第48回国際福祉機器展(リアル展)」と、特設サイトを活用した「国際福祉機器展 Web2021(Web展)」による、ハイブリッドのイベントとして開催いたします。

本イベントでは、ハンドメイドの自助具から最先端技術を活用したロボット介護機器まで、福祉機器の今・未来を、みて、さわって、たしかめることができ、多彩なセミナー等を実施いたします。

なお、リアル展は11月10日、11日、12日の3日間開催、Web展は10月11日～12月10日の公開とし、9月26日(日)より、入場登録の受付を開始しました。

詳細につきましては、下記概要および保健福祉広報協会ホームページをご確認ください。

国際福祉機器展 H. C. R. 2021

○第48回国際福祉機器展(リアル展)

(1) 開催日時

令和3年11月10日(水)～11月12日(金)

10:00～17:00 (12日は16:00まで)

(2) 会場

東京ビッグサイト青海展示棟 (東京都江東区青海1-2-33)

(3) 参加費

無料/事前登録入場制

○国際福祉機器展 Web2021 (Web展)

(1) 開催日時

令和3年10月11日(月)～12月10日(金) ※12月10日の17:00まで閲覧可

(2) 会場

【国際福祉機器展特設サイト】 <https://www.hcr-web.or.jp>

(3) 参加費

無料/登録制

※申込方法

リアル展の来場・Web展の閲覧、どちらも事前のご登録が必要となります。

下記国際福祉機器展特設サイトより、ご登録をお願いいたします。

【個人登録】 <https://hcr.or.jp/registration/personal>

【団体登録(10名以上でリアル展にご来場される場合)】 <https://hcr.or.jp/registration/organization>

【お問い合わせ先】

一般社団法人 保健福祉広報協会

E-mail: info@hcrjapan.org

3. 【厚労省】共生社会フォーラム～共生社会等に関する基本理念等普及啓発事業～を開催

厚生労働省では、「共生社会等に関する基本理念等普及啓発事業」の一環として、全国各地で「共生社会フォーラム」を開催します。

第4号において、各回の実施日程をご案内しておりましたが、「共生社会フォーラム in 北海道/とちかち・帯広」と「共生社会フォーラム in 群馬」、「共生社会フォーラム in 熊本」について、期日が近づいてまいりましたので再度お知らせいたします。

詳細につきましては、下記および糸賀一雄記念財団(事業受託者)、厚生労働省ホームページをご確認ください。

共生社会フォーラム in 北海道/とちかち・帯広

(1) 開催日時

令和3年10月14日(木)～10月15日(金)

(2) 会場

とちかちプラザ ((北海道帯広市西4条南13丁目1))

(3) 申込締切

令和3年10月7日(木) ※定員になり次第締め切り

共生社会フォーラム in 群馬

- (1) 開催日時
令和3年11月9日(火)～11月10日(水)
- (2) 会場
群馬会館(群馬県前橋市大手町二丁目1番1号)
- (3) 申込締切
令和3年11月2日(火) ※定員になり次第締め切り

共生社会フォーラム in 熊本

- (1) 開催日時
令和3年11月18日(木)～11月19日(金)
- (2) 会場
くまもと県民交流館パレア(熊本市中央区手取本町8番9号)
- (3) 申込締切
令和3年11月11日(木) ※定員になり次第締め切り

※申込方法

ワード形式での申し込みとオンラインによる申し込みがございます。詳細は下記糸賀一雄記念財団ホームページをご参照ください。

【お問い合わせ先】

公益財団法人 糸賀一雄記念財団(事業受託者)

TEL: 077-567-1707

【糸賀一雄記念財団(事業受託者)HP】 <http://www.itogazaidan.jp/>

【厚生労働省HP】

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/shougaihashukushi/kyouseishakai/index.html

4. 【厚労省】世界メンタルヘルスデーイベントの実施について

厚生労働省では、10月10日の世界メンタルヘルスデーに併せて、メンタルヘルスや精神障害に対する理解を深めるため、ランドマーク・東京タワーのライトアップ、スポーツ選手等による対談など、様々なイベントを開催しております。

世界メンタルヘルスデーとは、世界精神保健連盟が、メンタルヘルス問題に関する世間の意識を高め、偏見をなくし、正しい知識を普及することを目的として1992年より定めたものであり、正式な国際デー(国際記念日)とされています。

イベント等の詳細については、下記世界メンタルヘルスデー2021 特設サイト(厚生労働省ホームページ)をご確認ください。

【厚生労働省HP】 https://www.mhlw.go.jp/kokoro/mental_health_day/index.html

5. 【麒麟福祉財団】令和4年度「麒麟・福祉のちから開拓事業」、「麒麟・地域のちから応援事業」の助成事業を募集

公益財団法人 麒麟福祉財団では、「麒麟・福祉のちから開拓事業」および「麒麟・地域のちから応援事業」の助成事業を行っています。

本事業では、障害があってもなくても、高齢者でも子どもでも、日本人でも外国人でも、同じ地域やコミュニティで生活する一員として、共に理解し合い・支え合う共生社会の実現を願い、地域における障害児・者、高齢者、子どもなどの福祉向上に関わる、幅広いボランティア活動を実施する団体に対して、助成を行っております。

詳細につきましては、下記および麒麟福祉財団ホームページをご確認ください。

「麒麟・地域のちから応援事業」

(1) 対象事業

- ・子ども・子育て世代の福祉向上に関わるもの
- ・シルバー世代の福祉向上に関わるもの
- ・障害や困りごとのある人・支える人の福祉向上に関わるもの
- ・地域やコミュニティの活性化に関わるもの

(2) 対象団体

4名以上のメンバーが活動する団体・グループ

※NPOなどの法人格の有無、および活動年数は問わない。

※障害者・高齢者・子ども・地域活性などを推進する団体、それらを支援する団体のどちらでも助成対象とする。

(3) 助成金額

1件（一団体）あたりの上限額 30万円

(4) 募集締切

令和3年10月31日（日）当日消印有効

(5) 申請方法

下記ホームページをご参照ください。

【麒麟福祉財団 HP】 <https://foundation.kirinholdings.com/subsidy/r4/index.html>

「麒麟・福祉のちから開拓事業」

(1) 対象事業

- ・害者の福祉向上に関わるもの
- ・高齢者の福祉向上に関わるもの
- ・児童・青少年の福祉向上に関わるもの
- ・地域社会の福祉向上に関わるもの

(2) 対象団体

10名以上のメンバーが活動する団体・グループ

※NPOなどの法人格の有無、および活動年数は問わない。

※障害者・高齢者・子ども・地域活性などを推進する団体、
それらを支援する団体のどちらでも助成対象とする。

(3) 助成金額

1件(一団体)あたりの上限額100万円

(4) 募集締切

令和3年10月31日(日)当日消印有効

(5) 申請方法

下記ホームページをご参照ください。

【麒麟福祉財団HP】<https://foundation.kirinholdings.com/subsidy/r4/fukushi.html>

【お問い合わせ先】

公益財団法人麒麟福祉財団 事務局

TEL : 03-6837-7013 FAX : 03-5343-1093 Email : fukushizaidan@kirin.co.jp